

第4章 保健福祉課

保 健 福 祉 課 業 務

専門的なサービスの提供や医療・福祉の援護を行い、保健福祉サービスの向上と円滑な推進に努めました。

1 母子保健

小児慢性特定疾病児等を対象とした小児医療援護、養育支援事業を実施するとともに、地域における母子保健福祉サービスが円滑に提供されるよう母子保健委員会を開催し、医療的ケア児の支援と妊娠期からの児童虐待予防の推進を図りました。

また、男女の思春期から老年期までのライフステージに応じた切れ目のない健康支援をすることを目的に、からだところの多様な悩みに対応する為、保健相談等事業を実施しました。

2 健康増進・がん対策

がん検診受診率向上のため、管内市町や職域と協働して、地域のニーズや課題に応じた健康教育や普及啓発等を実施しました。また、健康寿命の延伸及び健康格差の縮小を目指し市町の健康増進事業や糖尿病重症化予防事業等の効果的な事業展開への支援に努めました。

3 栄養・食生活対策

地域食生活対策推進協議会を開催し、地域における栄養改善活動の推進を図るため、食生活支援体制づくりについて協議しました。

また、健康増進法に基づき特定給食施設に対する個別及び集団指導の実施や、栄養表示等の普及啓発及び活用推進に向け、普及啓発講習会や事業者に対して相談・指導を行いました。

4 歯科保健

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき、地域における関連事業の効果的かつ円滑な推進を図るため、歯及び口腔の健康づくり推進委員会を開催し、管内関係機関等と情報を共有しました。併せて、地域の基盤づくりとして、ボランティアの育成支援を行うオーラルフレイル健口推進員（8020運動推進員）養成事業を実施しました。

また、専門的かつ技術的な事業として、重度う蝕児の減少を目的とした事業、障害児者や在宅療養者等を対象にした事業、歯周病予防のための事業を実施しました。

5 地域福祉

地域の福祉的課題に対応するため、民生委員・児童委員への負担金の交付、障害福祉相談員への研修、バリアフリーの街づくり普及啓発事業など、地域福祉の推進に向けた取組を行いました。

6 介護保険

介護保険指定事業者等に対する運営指導及び介護保険に関する苦情・相談対応等を行いました。

7 生活福祉

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法・児童福祉法・母子及び父子並びに寡婦福祉法に定められている援護等を行いました。

また、「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき、特別障害者手当等の支給事務を行いました。

8 福祉統計

生活保護の被保護世帯数・人員など生活福祉等に係る統計調査業務を実施しました。

1 母子保健

(1) 性と健康の相談センター事業

ア 性と健康の相談

ライフステージに応じた、性と生殖や妊娠・出産に関する、一般相談及び専門相談を行いました。

区分	相談方法				相談者			相談内容（延べ数）										事後指導（延べ数）								
	電 話	面 接	そ の 他	計	本 人	そ の 他	計	妊 娠	避 妊	不 妊	不 育 症	性	メン タル ケア	婦 人 科	更 年 期	性 感 染	そ の 他	計	助 言 指 導	専 門 相 談	電 話 継 続	訪 問 継 続	他 機 関 紹 介	医 療 機 関	そ の 他	計
一般相談 （随時）	59	2	0	61	51	10	61	3	1	1	0	7	30	13	14	1	17	87	25	25	1	0	6	2	2	61
専門相談 （12回開設）	6	16	0	22	21	1	22	0	0	0	0	3	12	5	3	0	5	28	17	0	0	0	2	3	0	22

イ 思春期相談

区 分	相談方法			相談者（延べ数）				相談内容（延べ数）									事後指導（延べ数）								
	電 話	面 接	計	本 人	父 母	そ の 他	計	身 体	性	妊 娠	結 婚	病 気	友 人	家 族	学 校	そ の 他	計	助 言 指 導	面 接 継 続	電 話 継 続	訪 問 継 続	他 機 関 紹 介	受 診 勧 奨	そ の 他	計
男	15	0	15	11	3	1	15	3	12	0	0	0	0	3	2	0	20	12	0	0	0	3	0	0	15
女	5	0	5	0	5	0	5	0	2	0	0	1	1	1	2	4	11	2	0	0	0	2	0	1	5
計	20	0	20	11	8	1	20	3	14	0	0	1	1	4	4	4	31	14	0	0	0	5	0	1	20

ウ 思春期健康教育

月 日	場 所	対 象	内 容	参加人員
6月8日	鎌倉女子大学高等部	高校3年生	自分のカラダとココロ ～未来のあなたのために～	98
7月12日	鎌倉市立第一中学校	中学2年生	いのちのおはなし	69
10月6日	鎌倉市立第一中学校	中学1年生	いのちのおはなし	61
12月6日	鎌倉市立第一中学校	中学2年生	あなたに知って欲しいカラダとココロを守ること	69
12月15日	藤沢支援学校鎌倉分教室	高校1～3年生	あなたに知って欲しいカラダとココロ カラダ編	31
1月22日	鎌倉支援学校金井分教室	高校1～3年生	あなたに知って欲しいカラダとココロ カラダ編	39
2月28日	鎌倉市立第二中学校	中学3年生	あなたに知ってほしい、カラダとココロ ～未来の自分、大切な人のために～	72
3月1日	鎌倉市立第一中学校	中学3年生	あなたに知ってほしい、カラダとココロ ～未来の自分、大切な人のために～	75
3月18日	神奈川県立七里ガ浜高等学校	高校1年生	あなたに知ってほしい、カラダとココロ ～未来の自分、大切な人のために～	369

エ 思春期保健研修会

教育関係者や行政関係者が「生命の安全教育」の重要性を理解し、各校における具体策を話し合い、取り組みを推進することを目的に研修会を開催しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
12月1日	鎌倉保健 福祉事務所	令和5年度思春期保健研修会 始めよう生命の安全教育 ～実践に向けて～	31

オ 妊娠・不妊に関する正しい知識の普及啓発

月 日	場 所	対 象	内 容	参加人員
11月3日 ～11月4日	鎌倉女子大学 みどり祭	鎌倉女子 大学学生等	・妊娠・出産、不妊、女性のからだところの健康づくり等に関する パネルの展示 ・妊娠・出産、不妊、女性のからだところの健康づくり等に関する スライドショー ・リーフレットの配布 ・妊娠SOSカード配布（117人）	320

(2) 予期しない妊娠等に関する相談事業（妊娠SOSかながわ普及啓発）

妊娠SOSかながわのカード・ポスターを配布しました。

配布先	大学・専門学校	行政機関	交通機関	飲食店	コンビニ	商業施設	所内	計	配 布 数	カード	ポスター
施設数	4	3	5	8	3	23	1	47		644	32

(3) 小児医療援護

ア 小児慢性特定疾病医療費助成

児童福祉法に基づき、対象疾病に罹患し厚生労働大臣が定める疾病の基準を満たすと認められた18歳未満の児童（18歳到達時点で認定されており、かつ、その後も引き続き治療が必要と認められる場合には20歳未満まで更新可能）に対し、小児慢性特定疾病医療費助成事務を行いました。

疾病	悪 性 新 生 物	慢 性 腎 疾 患	慢 性 呼 吸 器 疾 患	慢 性 心 疾 患	内 分 泌 疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	先 天 性 代 謝 異 常	血 液 疾 患	免 疫 疾 患	神 経 筋 疾 患	慢 性 消 化 器 疾 患	染色体または遺伝子に変化を伴う症候群	皮 膚 疾 患	骨 系 統 疾 患	脈 管 系 疾 患	計（人）
市町村																	
鎌倉市	19	9	4	20	12	6	5	5	3	0	11	12	3	3	2	0	114
逗子市	5	2	0	6	2	0	4	0	0	1	4	5	2	0	0	0	31
葉山町	3	2	0	5	3	0	0	0	2	0	4	2	0	0	0	1	22
計	27	13	4	31	17	6	9	5	5	1	19	19	5	3	2	1	167

イ 療育医療給付

長期療育を必要とする18歳未満の結核児童に対し、指定療育機関に入院させ、適正な医療を行うとともに、併せて学校教育を受けさせ、心身両面にわたる健全な育成を図ることを目的とし、給付を行っています。

令和5年度申請なし

(4) 妊娠期からの児童虐待予防支援事業

妊娠期からの児童虐待予防に向けた支援体制の強化として、市町担当者と事例検討会を行いました。
事例検討会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
3月5日	鎌倉保健福祉事務所	対応が困難な事例から学ぶ、子育て支援の事例検討会「事例から学ぶ 子育て支援のヒント」	公認心理師 田中 貴世 氏	12

(5) 養育支援事業

ア 訪問指導

	小児慢性疾病	その他	計
実人数	12	2	14
延人数	33	4	37

イ 所内指導(電話・面接・文書等)

	小児慢性疾病	その他	計
実人数	92	17	109
延人数	281	23	304

ウ 集団指導

疾病等により、長期にわたり療養を必要とする児童に対し、適切な養育を確保し日常生活における健康の保持増進を図るため相談や講演会・交流会を行いました。

(ア) ダウン症児等の親子の会(さくらんぼの会)

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
8月29日	鎌倉保健福祉事務所	「聞いてみよう！～認定遺伝カウンセラーのお話」	神奈川県立こども医療センター 外来看護科 認定遺伝カウンセラー 西川 智子 氏	13
10月18日	鎌倉保健福祉事務所	「“食べる”をはぐぐむ ～からだに合わせた食べ方支援」	神奈川県立こども医療センター 小児科 小松 知子 氏	12
2月16日	鎌倉保健福祉事務所	「いっしょにあそぼ！～あそびから 教えてもらえること～」	神奈川県立こども医療センター 作業療法科 作業療法士 山崎 智子 氏	9

(イ) 医療的ケア児等の交流会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
9月27日	鎌倉保健福祉事務所	医療的ケアの必要なお子さんと保護者の交流	なし	6
2月21日	逗子市保健センター	医療的ケアの必要なお子さんと保護者の交流	なし	9

(ウ) 小児慢性特定疾病講演会

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
8月21日	鎌倉保健福祉事務所	「ドクターに聞く！ 1型糖尿病の話～」	社会福祉法人 聖テレジア会 鎌倉療育医療センター 小さき花の園 診療部長 布川 香織 氏	15

(6) 保健福祉サービス連携調整会議（母子保健委員会・部会）

管内の母子保健事業が円滑かつ効果的に行われることを目的に、母子保健委員会を開催しています。今年度は、「医療的ケア児の支援」と「妊娠期からの児童虐待予防」について、管内での取組みの推進を図るため部会を開催しました。

ア 母子保健委員会

月 日	内 容	出席人員
2月28日	1 医療的ケア児の支援について 2 妊娠期からの児童虐待予防の推進について 3 鎌倉保健福祉事務所 母子保健事業の取組みについて 4 その他	11

イ 部会

月 日	内 容	出席人員
11月22日	1 医療的ケア児等の災害時支援の各機関の取組状況について 2 慢性疾患児と家族の支援に関する情報交換 3 その他	14
1月26日	1 児童虐待予防のための妊娠期からの切れ目ない支援について 2 精神疾患のある妊産婦支援について 3 子ども家庭センター設置に向けて準備進捗状況 4 その他	16

ウ 管内母子保健事業連絡会

月 日	内 容	出席人員
5月17日	1 令和5年度母子保健事業の新規・重点事業について 2 母子保健事業に関する情報交換 3 その他 ・歯科保健事業について	11

2 健康増進・がん対策

(1) がん検診普及啓発セミナー

地域の実情に合わせたがん検診受診率の向上を目指すため、管内市町や民間企業等と協働し、地域のニーズや実情に応じた「がん検診普及啓発セミナー」を実施しました。

月 日	内 容	場 所	来場者数
9 月	逗葉医師会、逗子市、葉山町と協働し、市民向けがん普及啓発セミナーを実施（テーマ：「ZUSHI&HAYAMA 子宮頸がん予防について」、医師およびがん体験者による講演、体験会等）	逗子市保健センター	30

(2) 地域企業におけるがん検診受診促進事業

地域企業、事業所等におけるがん検診受診普及啓発に関するリーフレットの配布、講演を実施し、がん検診の受診普及啓発、受診率の向上に努めました。

ア. がん検診受診普及啓発に関するリーフレットの配布

月 日	対 象	配布部数 又は 事業所数
4 月～5 月	湘南地域産業保健センター、三浦半島地域産業保健センター協力の下、50人未満の中小企業巡回健康相談時に配布を依頼	各100部
7 月	逗子市商工会の協力の下、健康診断対象者への通知文との同封を依頼し、郵送	1,250部
9 月6 日	神奈川県労働衛生週間横須賀地区大会の参加者（事業主、従業員）	120部
9 月7 日	鎌倉商工会議所健診受診者	6 部
9 月27 日	逗子市商工会女性部会員向け「健康づくり講座」参加者	17部
7 月～2 月	管内運営指導対象の介護保険指定事業所	45施設
通年	食品衛生責任者講習会（主催：当所食品衛生課）参加者	23部

イ. がん検診受診普及啓発に関する保健師による講演

月 日	内 容	場 所	来場者数
9 月6 日	神奈川県労働衛生週間横須賀地区推進大会参加の事業主、従業員を対象に、『がん治療と仕事の両立支援のリアル』をテーマに実施	ヴェルクよこすか	120
9 月27 日	逗子市商工会女性部会員を対象に、『健康づくり講座』にて「更年期障害と骨折について」をテーマに実施	逗子市商工会館	21

(3) 健康増進事業等評価

管内市町の実施する健康増進事業・糖尿病重症化予防事業について合同ヒアリングを行い、市町が地域特性を踏まえて円滑かつ効果的に実施できるよう情報提供、情報共有をし、地域の健康課題把握に努めました。

日 時	内 容	場 所	出席者	出席者数
7月11日	令和5年度 健康増進事業・糖尿病重症化予防事業の自己評価結果等に関する合同ヒアリング	鎌倉保健福祉事務所	鎌倉市市民健康課、鎌倉市保険年金課、逗子市国保健康課、葉山町町民健康課、神奈川県後期高齢者医療広域連合、神奈川県医療保険課、鎌倉保健福祉事務所	16

(4) 保健医療データ活用事業（地区別研修会）

管内市町が地域課題を明確にし、効果的な事業計画立案、事業評価等の実施を目的に、保健医療データの活用に関する地区別研修会を実施しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
12月18日	鎌倉保健福祉事務所	1 保健医療等データに関する基本的知識、データ分析の基礎（講義、演習） 2 令和5年度『一体的実施計画書』作成プロセスの振り返り 3 事業の効果検証等を行う手法を学ぶ 4 令和6年度『一体的実施計画書』に向けた意見交換	公立大学法人神奈川県立保健福祉大学イノベーション政策研究センター 副センター長 渡邊 亮 氏 特任研究員 岩根 泰蔵 氏	22

(5) 糖尿病重症化予防事業市町村支援

市町の実施する糖尿病重症化予防事業等の取組状況、健康課題等を把握し、効果的・効率的な事業を支援するため、研修会を開催しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
2月20日	鎌倉保健福祉事務所	1 講義 ナッジの活用～糖尿病等重症化予防に向けて～ 2 グループワーク ナッジ理論を活用しながら勧奨通知を作成・意見交換	神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室 未来創生グループ 野田 幸雄 氏 田中 翔 氏	11

(6) 熱中症関連普及啓発

管内事業所および中学校において、熱中症予防普及啓発に関するリーフレットの配布、講演を実施しました。

ア. 熱中症普及啓発に関するリーフレットの配布

月 日	対 象	配布部数
7月～2月	管内運営指導対象の介護保険指定事業所	45施設

イ. 熱中症予防に関する保健師による講演

月 日	内 容	場 所	参加者数
5月26日	中学校1～3年生を対象に、『知って予防しよう！熱中症』をテーマに実施	逗子市久木中学校	560

3 栄養・食生活対策

(1) 特定給食等指導事業（昭和27年度～）

健康増進法及び小規模特定給食施設の栄養改善に関する条例に基づき、給食施設に対し栄養管理について必要な指導、助言を行うとともに、利用者や職員等の健康に関する知識の普及や健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進しました。

ア 給食施設個別指導

対象の施設に対し、個別指導、助言を計164回実施しました。

		管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいない施設	
		施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数
指定施設①	学 校	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	0	0	1	1	0	0	0	0
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	1	1	1	1	0	0	0	0
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	2	2	0	0	0	0
1 日 3 食以上又は 1 回 7 食以上又は 1 回 5 食以上又は 1 回 3 食以上又は 1 回 1 食以上又は 1 回 0 食以上又は 1 回 0 食以上又は 1 回 0 食以上又は 1 回 0 食以上又は 1 回 0 食以上又は 1 回 0 食以上又は	学 校	16	16	5	5	7	7	0	0
	病 院	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	1	1	0	0	0	0	0	0
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	17	17	5	5	7	7	0	0
1 日 2 食以上又は 1 回 2 食以上又は 1 回 1 食以上又は 1 回 0 食以上又は 1 回 0 食以上又は 1 回 0 食以上又は 1 回 0 食以上又は 1 回 0 食以上又は 1 回 0 食以上又は 1 回 0 食以上又は 1 回 0 食以上又は	学 校	2	2	1	1	2	2	4	4
	病 院	1	1	6	6	0	0	0	0
	介護老人保健施設	2	2	2	2	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	5	5	7	6	2	2	0	0
	児童福祉施設	4	4	4	4	12	12	4	4
	社会福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	1	1	1	1	0	0	1	1
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	1	1	1	1	2	2	2	2
	計	16	16	22	21	18	18	11	11
その他の給食施設	学 校	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	2	2	5	5	0	0	0	0
	介護老人保健施設	1	1	2	2	0	0	0	0
	介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	4	4	0	0	1	1	0	0
	児童福祉施設	6	6	2	2	10	10	2	1
	社会福祉施設	2	2	0	0	1	1	3	3
	事 業 所	1	1	1	1	1	1	5	5
	寄 宿 舎	0	0	0	0	0	0	1	1
	そ の 他	2	2	0	0	5	5	8	9
	計	18	18	10	10	18	18	19	19

※指導件数は延数

イ 特定給食施設等講習会

対象	月 日	内 容	参加 施設数	実施方法
全体	2月9日	演題 「まずは食べてもらいたい～給食で選ばれるお魚メニューを目指して～」 講師 株式会社オカフーズ ベトナム事業室長 武井 大 氏	36	オン ライン
種別	9月11日	演題 「保育管理下における食べ物の窒息事故、相次ぐのはなぜか」 講師 緑園こどもクリニック医院長 NPO Safe Kids Japan理事長 山中 龍宏 氏	29	集合

ウ 栄養改善普及運動（平成29年度～）

「かながわ健康プラン21（第2次）」における栄養・食生活の目標のうち、食生活の基本である「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合の増加」を推進するため、「主食・主菜・副菜を揃えた食事」をテーマとして、事業所との連携による従業員の健康づくりを目的に健康情報の提供を行いました。

月 日	内 容	参加 施設数
11月20日	<全施設対象の取組み> 事業所の健康づくり担当者に、ポスター掲示の依頼と啓発グッズを配付。	14

(2) 栄養・食生活の企画・運営

ア 地域食生活対策推進協議会（平成元年度～）

地域における栄養・食生活課題の解決に向けた施策の推進と、関係者の連携による地域特性に応じた事業展開を図るため、「地域食生活対策推進協議会」と「栄養・食生活検討会」を開催しました。

(ア) 地域食生活対策推進協議会

月 日	内 容	委員構成	出席者数
1月19日	テーマ「高齢者の食生活支援体制づくりについて」 (1) 「高齢者の低栄養早期把握」リーフレットの活用について (2) 令和6年度地域食生活対策推進協議会検討事項について	医師会、学識経験者、地域包括関係（栄養ケア・ステーション栄養士）、市町健康主管課栄養士、当所所長	7

(イ) 栄養・食生活検討会

月 日	内 容	委員構成	回答委員 数
8月25日 ～ 9月14日	テーマ「高齢者の食生活支援体制づくりについて」 *地域食生活対策推進協議会にて作成したリーフレットの活用について個別の聞き取りを実施。 聞き取り内容 (1) リーフレット「低栄養チェックシート」の活用について (2) 今後の低栄養対策事業について	学識経験者、地域包括関係 (認定栄養ケア・ステーション栄養士)、市町健康 主管課栄養士	6

イ 国民健康・栄養調査（昭和20年度～）

健康増進法に基づき、国民の健康増進の総合的な推進を図るために必要なデータを収集し、国民の健康状況、栄養摂取状況及び生活習慣の状態を明らかにする。

*令和5年度該当なし

(3) 地域・医療・福祉・介護領域と連携した栄養・食生活支援体制づくり

地域の社会資源を活用し、栄養・食生活改善活動を包括的に推進するために、医療・福祉・介護関連施設等と連携し、地域の関係機関や団体それぞれが実施する食生活・健康増進対策の取組みを支援しました。

ア 市町村に対する企画・技術支援

(ア) 管内行政栄養士連絡会

地域における栄養・食生活対策の効果的な推進を図り、管内市町栄養士同士の業務の情報共有及び相互理解、連携強化等を目的に管内行政栄養士連絡会を開催しました。

月 日	内 容
6月28日	・令和5年度事業について ・行政栄養士業務連絡会の計画について ・健康増進計画、食育推進計画について
2月27日	テーマ「発災時の栄養・食生活支援をシュミレーションする」 ～熊本地震における栄養・食生活支援活動を参考に～ 内容 支援活動「発災後の栄養・食生活支援活動をシュミレーションする」 ～日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）研修会等を参考に～ ・次年度計画について

(イ) 企画・業務支援

市町名	内 容	回数
鎌倉市	鎌倉市食育推進会議への出席	1
逗子市・葉山町	逗子市・葉山町合同食生活改善推進員養成講座での講義	1

イ 食育推進研修（地域保健活動推進研修）

月 日	内 容	講 師	参加者数
10月3日	時間栄養学の基礎知識と実践現場での応用 ※三崎センターと合同実施	広島大学大学院医系科学研究科公衆衛生学准教授 田原 優 氏	12
10月19日	災害時における栄養・食生活支援活動	鎌倉保健福祉事務所 管理栄養士	7

ウ 各領域と連携した栄養・食生活対策推進事業

地域特性に応じた食環境づくりを推進するため、関係機関・団体と連携してその取組みを支援し、地域における栄養・食生活対策の推進を図りました。

区 分	事業名・教室名	内 容	対 象	連携した機関・団体等名	集団指導	
					延回数	延人数
学校等と連携した食生活自立支援対策	学校での健康づくり応援事業	講話：自分の「こうなりたい」を支える食生活の大切さ	学生・教員	管内公立高校	1	206
	管内高校と連携した健康教育	講話：BMIと適正体重、バランスの良い食事、栄養成分表示の活用	学生	管内私立高校	1	79
合 計					2	285

エ 地域や職域等の人材育成

（ア）食生活改善推進団体の育成

地域の健康づくりの推進役として、食生活改善推進団体の活動が円滑に行われるよう育成指導を行いました。

内 容	回 数	延人数
役員会及び三支部合同スキルアップセミナー	13	139

（イ）管理栄養士課程の臨地実習

管理栄養士養成施設の学生に対し、公衆衛生分野の臨地実習を行いました。

学 校	学生数	期 間
神奈川県立福祉大学	4	5月15日～5月19日
鎌倉女子大学	4	6月12日～6月16日
文教大学	1	9月11日～9月15日
関東学院大学	3	2月5日～2月9日
相模女子大学	3	2月26日～3月1日
合 計	15	5校5コース

(4) 専門的栄養指導・食生活支援事業（平成6年度～）

慢性疾患及び難病等や、個別性の高い長期療養者の生活の質を高めることを目指し、対象者及びその家族等に対し、個々に対応した栄養指導や食生活支援を行いました。
また、地域での食生活支援者に対して研修会を開催しました。

ア 個別栄養指導

疾 病 別	実人員	延人員	(再掲) 訪問
糖 尿 病 合 併 症	2	3	
脂質異常症・肥満合併症	1	1	
腎 臓 疾 患			
難 病			
精 神 保 健	1	1	
高 齢 者 の 低 栄 養			
ハ イ リ ス ク 児			
食 物 ア レ ル ギ ー			
そ の 他	1	1	
計	5	6	

イ 食生活支援担当者等研修会

月 日	対 象	内 容	参加者数
12月1日	食生活改善推進団体若宮会会員 市町行政栄養士	講演「地域高齢者の食生活支援・低栄養予防について ～チェックシートの活用」 講師 文教大学健康栄養学部 管理栄養学科 講師 長瀬 香織 氏	37

(5) 栄養表示等普及啓発及び活用推進事業（平成8年度～）

食品表示法に基づく食品表示基準制度、健康増進法に基づく特別用途食品の普及啓発と活用促進及び同法に基づく食品の健保持増進効果に関する虚偽・誇大表示等の禁止に係る普及啓発を図るため、講習会及び個別相談等を実施しました。

ア 普及啓発講習会

対 象 \ 区 分	回 数	参加者数	内 容
消 費 者	0	0	食生活改善推進員養成講座
そ の 他	1	22	
合 計	1	22	

イ 事業者に対する表示適正化指導（食品表示法）

区分 内容		食品表示法							合計
		栄養表示			栄養機能食品		機能性表示食品		
		加工食品	生鮮食品	添加物	加工食品	生鮮食品	加工食品	生鮮食品	
事前相談・指導	件数	12	-	-	-	-	-	-	12
	延回数	24	-	-	-	-	-	-	24
適正化指導	件数	-	-	-	-	-	-	-	-
	延回数	-	-	-	-	-	-	-	-
	改善確認	-	-	-	-	-	-	-	-

ウ 事業者に対する表示適正化指導（健康増進法）

内 容 区分		健康増進法			合 計
		特別用途食品	栄養表示基準	虚偽誇大表示	
事前相談・指導	件数	-	-	-	-
	延回数	-	-	-	-
適正化指導	件数	-	-	1	1
	延回数	-	-	9	9
	改善確認	-	-	0	0

4 歯科保健

(1) 保健福祉サービス連携調整会議（歯及び口腔の健康づくり推進委員会）

神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき、管内における歯及び口腔の健康づくりに関する事業の効果的かつ円滑な推進を図ることを目的に開催しました。

月 日	内 容	出席者数
2月29日	1 管内の歯科保健事業に関する取組み評価 ・神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画の目標値と管内の現状 ・管内の「重点的取組み」の振り返り 2 管内の歯科保健事業の今後の取組み 3 その他	委 員 11 事務局 4

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業

市町の乳幼児教室や歯科健診と連携し、重度むし歯のリスク要因を有する幼児を早期に把握し、継続的な歯科検診、保健指導、フッ化物塗布等を実施しました。

実施回数	受診者数			予 防 処 置 件 数			初診者の把握経路			
	初 診	再 診	計	フッ化物	フッ化 ジア リン銀	計	1.6歳児	2歳児	その他	計
42	30	68	98	96	5	101	22	5	3	30

(3) 障害児者等歯科保健事業

「歯っぴいスマイル相談」では、心身に障害をもつ方を対象に歯科検診・摂食嚥下指導等を行いました。その他、障害者施設及び事業所等での歯科保健指導を行いました。

ア 歯っぴいスマイル相談（個別）

市 町 名※	実施回数	受診者数		内 容（延人数）			
		実人数	延人数	口腔内 診査	歯科 保健指導	予防処置	摂食指導
鎌 倉 市	4	3	4	4	4	0	3
逗 子 市	4	2	4	4	4	4	-
葉 山 町	3	1	3	3	3	3	-
計	11	6	11	11	11	7	3

※受診者の居住地

イ その他（集団）

対象	回数	参加者	内 容
在宅障害者歯科検診等事業 （主催：鎌倉市歯科医師会）	5	37	歯科保健指導（歯みがき指導）

(4) 歯周病予防対策事業

ア 歯周病検診・指導

成人の歯周病予防対策の一環として、主に妊婦を対象に歯と歯ぐきの検診及び歯周病予防の歯みがき実習を行いました。

区分	回数	検診または指導者数内訳		
		妊婦	その他	総計
個別	13	19	-	19
集団	-	-	-	0
総計	13	19	0	19

イ 歯間部清掃用具の活用推進

歯間部清掃用具の正しい使用方法等についての実技指導を行いました。

実施回数	受講者数
25	148

(5) 在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅療養者等のＱＯＬ（生活の質）の向上をめざし、訪問による歯科検診、摂食嚥下指導等を行いました。

ア 訪問者数

実人数	延 人 数					
	6歳以下	7～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	計
16	9	7	-	-	-	16

イ 市町別疾患別状況（実数）

区 分	慢性疾患児	その他	計
鎌倉市	2	2	4
逗子市	3	-	3
葉山町	-	4	4
計	5	6	11

ウ 内容（延人数）

口腔内診査	保健指導	予防処置	摂食指導	その他
14	16	6	6	1

(6) 歯の健康づくり事業

「健口かながわ5か条」の普及（リーフレットの配布・説明）を行いました。

普及対象	母子	学童・生徒	成人	高齢者	その他	不特定多数	総計
普及人数	30	—	19	0	83	375	507

(7) オーラルフレイル健口推進員（8020運動推進員）養成事業

健口体操（お口の体操）等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施するボランティア（オーラルフレイル健口推進員）の育成・活動支援を行いました。

ア オーラルフレイル健口推進員数【健康増進課主催の養成研修修了者】

鎌倉市	逗子市	葉山町	管内計	
6 (63)	4 (91)	6 (36)	16 (190)	() 内は累計数(平成23～令和5年度)

イ オーラルフレイル健口推進員育成研修

月日	内 容	受講者数
5月19日	1 活動時の感染対策等について 2 楽しんで伝えよう！健口体操～人前で実演するためのコツを学ぼう～ 講師 当所歯科医師・歯科衛生士 健康運動指導士	推進員 14 聴講者 2
12月4日	テーマ：やってみよう！健口体操 ～基本の動きを楽しくマスターしよう～ ・オーラルフレイル健口推進員養成研修修了証授与 ・当所管内の推進員及び活動について ・お口の機能と変化（自己チェック） ・お口の健口体操（基礎編） 講師 当所歯科医師・歯科衛生士	推進員 7
1月19日	テーマ：測って学ぼう！お口の力 ～健口体操の応用と自己チェックで理解を深めよう～ ・オーラルフレイル健口推進員養成研修修了証授与 ・基礎編の復習 ・お口の健口体操（応用編） ・お口の機能と変化（自己チェック） 講師 当所歯科医師・歯科衛生士	推進員 6
2月7日	テーマ：どう伝える？健口体操～活動の場で伝える方法を学ぼう～ ・基礎編・応用編の復習 ・集約版「グー・パー・ぐるぐる・ごっくん・ペー」体操 ・頬ストレッチ ・活動の場でどう伝える？ 講師 当所歯科医師・歯科衛生士	推進員 4 聴講者 4

ウ 支援体制の整備等

月日	内 容
11月20日	町内会館での活動支援
3月11日	洗口液についての相談（活動の場での配付について）

(8) 災害時歯科口腔保健対応対策事業

災害時における地域の歯科口腔保健対応する体制づくりの促進を目的に、市町、地域歯科医師会との検討会を実施しました。

月日	内容	出席者
11月16日	令和5年度 災害時歯科口腔保健対応対策担当者会議 1 災害時の歯科口腔保健対応対策の進捗状況 2 歯科口腔保健関係の防災備蓄状況について 3 他機関への質疑・確認事項について 4 その他	委 員 5 事務局 4

(9) 歯科健康教育

管内の施設、団体等関係機関からの依頼を受けて、地域住民に対する歯科健康教育、情報提供を行いました。

実施回数	参加者数	内容件数（複数計上）				
		う蝕予防	歯周病 予防	口腔機能 発達支援	高齢者・ 療養者 口腔ケア	その他
1	12	1	1			

(10) 人材の育成

歯科保健に関する研修・講習会の企画及び講師を務める等で、歯科保健に係る人材への助言・指導等を行いました。

実施回数	受講者数
7	41

受 講 者 内 訳 数							
歯科医師	歯科衛生士	保健師	栄養士	健康づくり 団体	介護保険 関係者	その他	市町村職員 (再掲)
4	36	-	-	-	-	1	0

(11) その他

- ・電話相談（歯科関連）6件

5 地域福祉

(1) 民生委員・児童委員の活動

地域における福祉活動の中心的役割を担っている民生委員・児童委員の活動に対して、負担金を交付しました。

区分 市町名	定 数			相談件数	活動日数	訪問回数
	民生委員 児童委員	主任児童 委 員	計			
鎌倉市	206	20	226	4,427	31,568	31,310
逗子市	74	6	80	844	9,767	19,366
三浦市	83	7	90	1,698	9,818	7,954
葉山町	51	3	54	1,584	6,315	4,425
計	414	36	450	8,553	57,468	63,055

(2) 障害福祉相談員の研修

管内障害福祉相談員の相談対応能力の向上を目的とした研修会を実施しました。

月 日	場 所	内 容	講 師	参加人員
12月1日 ～12月20日	動画配信	「高次脳機能障害支援について」 障害当事者への支援を行うにあたり、 相談支援者として求められる姿勢・技 術について、高次脳機能障害支援を例 として解説。	神奈川リハビリテーショ ン病院 総合相談室 室長 瀧澤 学 氏	6

(3) 地域福祉の人材育成

地域福祉の推進のため、各市町行政職員、市町社会福祉協議会職員等による圏域内地域福祉担当者会議を県地域福祉課と共催で開催しました。

月 日	場 所	内 容	参加人員
10月27日	鎌倉保健福祉 事務所 講堂	(1) 神奈川県の実施状況 (2) 各市町及び各社会福祉協議会における各種事業の実施 ①令和5年度重点事業、取組 ②コロナ禍で影響を受けた事業や工夫した取組 (3) 各市町及び各社会福祉協議会の取組について意見交換 (4) バリアフリーの普及啓発	12

(4) 成年後見制度普及啓発事業

福祉関係者に対して、成年後見制度の理解を深めるため、事例を通じた研修会の実施や市町成年後見制度担当者・社会福祉協議会担当者等による意見交換会を実施しております。
(～令和元年度)

月 日	場 所	内 容	参加人員

(5) バリアフリーの街づくり普及啓発事業

ア 普及啓発

管内地域のイベントに参加し、「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」の普及啓発を行っておりますが、令和5年度は管内のイベント開催がなく実施しておりません。

月 日	場 所	内 容	参加人員

イ バリアフリー教室の開催

バリアフリーに係る普及啓発を行いました。

月 日	対 象	内 容	参加人員
12月11日	鎌倉女子大学 短期大学部学生	①演題「身近にあるバリアフリーについて」 ②介助犬・聴導犬について（講演と実演）	105名
12月15日	藤沢支援学校 鎌倉分教室	演題「知ろう！バリアフリー」 駅内にあるバリアフリーを例とし、バリアフリーの定義について説明。	29名

(6) 横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会の支援

横須賀・三浦障害保健福祉圏域における相談支援等のネットワークの形成を通じて、重層的な相談支援体制を構築し、広域的かつ専門的な支援を行うことにより、障害者の福祉の増進を図る事業として県が委託している社会福祉法人「湘南の風」の活動を支援しております。

会 議 名	回数
横須賀・三浦障害保健福祉圏域自立支援協議会	2

(7) 管内市町等への支援

管内市町、社会福祉協議会及び団体が行う福祉事業について、委員会等の委員を受任し、参画しました。

ア 福祉の推進

会議等名称	回数
かまくら成年後見制度連絡会	2
多職種連携会議（逗葉地域）	2
逗子市自立支援協議会 運営会議	2
逗子市自立支援協議会 専門会議（就労支援部門）	2
逗子市地域包括ケア会議	1
逗子市地域包括支援センター等運営協議会	4
逗子市障がい者差別解消支援地域連絡会	1
横須賀市障害とくらし支援協議会	2

イ 計画策定・進行管理

会議等名称	回数
逗子市高齢者保健福祉計画懇話会	4
葉山町地域福祉計画策定委員会	3

6 介護保険

(1) 介護保険指定事業者指導等事業

管内に所在する介護保険指定事業者等に対し、運営指導を行いました。

ア 介護保険指定事業者等指導講習会開催状況（※高齢福祉課単独開催）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ウェブサイト介護情報サービスかながわへの資料掲載をもって実施された。

イ 介護保険事業所運営指導件数

	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町	計
1 指定訪問介護	9	3	1	1	14
2 指定訪問入浴介護	1	0	0	0	1
3 指定介護予防訪問入浴介護	1	0	0	0	1
4 指定訪問看護	5	1	3	0	9
5 指定介護予防訪問看護	5	1	2	0	8
6 指定訪問リハビリテーション	1	0	0	0	1
7 指定介護予防訪問リハビリテーション	1	0	0	0	1
8 指定居宅療養管理指導	0	0	0	0	0
9 指定介護予防居宅療養管理指導	0	0	0	0	0
10 指定通所介護	2	4	1	2	9
11 指定通所リハビリテーション	2	0	0	0	2
12 指定介護予防通所リハビリテーション	2	0	0	0	2
13 指定短期入所生活介護	3	1	0	2	6
14 指定介護予防短期入所生活介護	3	1	0	2	6
15 指定短期入所療養介護	2	0	0	0	2
16 指定介護予防短期入所療養介護	2	0	0	0	2
17 指定特定施設入居者生活介護	2	0	3	2	7
18 指定介護予防特定施設入居者生活介護	2	0	3	2	7
19 指定福祉用具貸与	0	0	0	0	0
20 指定介護予防福祉用具貸与	0	0	0	0	0
21 指定特定福祉用具販売	0	0	0	0	0
22 指定特定介護予防福祉用具販売	0	0	0	0	0
23 指定介護老人福祉施設	3	1	0	1	5
24 介護老人保健施設	2	0	0	0	2
25 指定介護療養型医療施設	0	0	0	0	0
26 指定介護医療院	0	0	0	0	0
計	48	12	13	12	85

(2) 事業者運営指導担当者連絡会議

月 日	場 所	内 容	出席者
5月8日	オンライン会議	- 令和5年度介護保険事業者等運営指導の方針について - 令和5年度介護保険指定事業者等運営指導計画書について - 地域密着型サービス事業者、居宅介護支援事業者、総合事業等の指定事業者に対する指導事務の実施状況等について - 高齢福祉課からの連絡事項について - その他連絡事項等について	鎌倉市介護保険課、逗子市高齢介護課、三浦市高齢介護課、葉山町福祉課、県高齢福祉課、三崎センター保健福祉課、鎌倉保健福祉事務所保健福祉課

7 生活福祉

(1) 生活保護業務

葉山町を所管する福祉事務所として、生活保護法に基づく保護を行い、その最低生活を保障するとともに自立を支援しました。

ア 扶助別被保護世帯数・人員

2024（令和6年）3月分

区分		総数	生活 扶助	住宅 扶助	教育 扶助	介護 扶助	医療 扶助	生業 扶助	出産 扶助	葬祭 扶助
町名										
葉山町	世帯数	114	100	89	2	35	95	1	0	1
	人 員	135	119	105	4	36	107	2	0	1

※出産扶助・葬祭扶助については令和5年度中の実績

イ 保護開始・廃止

<理由別開始世帯の状況>

2023（令和5）年度

区分 町名	傷世帯主の病	傷世帯員の病	扶急助保 単で医給 療	要介護状態	者の死亡	働いていた	者の離別等	失業		収入の減少	老齢による減少	倒産・事業不振・入の減少	その他の働き収入の減少等	年金等の減少等	貯金等の減少等	仕送りの減少等	その他	計
								都 道 市 町 村 合 計	解雇等									
葉山町	6	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	14	1	5	30

<理由別廃止世帯の状況>

2023（令和5）年度

区分 町名	世帯主の 治療癒	世帯員の 治療癒	死 亡	失 踪	増 加	稼働 収入の 入	働 き手 の 加	増 年 金 等 の 加	仕 送 り の 増	左 記 以 外 の 増	引 取 り の 増	親 類 等 の 入 所	施 設 入 所	他 法 療 費 担 担	医 療 費 担 担	変 更 の 成 果	世 帯 構 成 の 変 更	指 導 指 示 違 反	逮 捕 ・ 留 置 等	そ の 他	計
葉山町	0	0	11	0	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	11	27

ウ 世帯類型別被保護世帯の状況

2024（令和6年）3月分

区分	高齢者世帯	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他の世帯	計
葉山町	68	1	20	9	15	113

エ 労働力類型別被保護世帯の状況

2024（令和6年）3月分

区分 町名	稼働世帯					非稼働 世帯	計
	世帯主が働いている世帯				世帯員 稼働		
	常 用	日 雇	内 職	その他			
葉山町	11	0	4	0	3	95	113

オ 医療扶助の状況

2024（令和6年）3月分

（単位：人）

区分	入 院			入 院 外			計
	精 神	其 他	小 計	精 神	其 他	小 計	
葉山町	1	1	2	5	100	105	107

カ 生活保護施設措置状況

2024（令和6年）3月分

区分	救護施設	更生施設	計
葉山町	0	0	0

キ 保護の開始廃止件数の推移

年 度	2019年度 (令和元年)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
開 始	15	14	23	22	23
廃 止	12	12	16	23	27

ク 保護世帯数等の推移(各年度3月)

年 度	2019年度 (令和元年)	2020年度 (令和2)	2021年度 (令和3)	2022年度 (令和4)	2023年度 (令和5)
世帯数	108	110	117	118	114
人 員	134	129	140	148	135
保護率 %	4.25	4.07	4.05	4.73	4.37

ケ 生活保護費の状況

(単位：円)

区分 町名	総 額	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	生業扶助	葬祭扶助	施設事務費	就労自立給付	進学準備給付
葉山町	128,753,914	74,302,270	50,266,167	651,226	45,500	1,509,859	312,700	1,553,650	0	112,542	0

(注) 上記経費は当所において直接支出した扶助費ごとの額です。

(2) 特別障害者手当等の支給状況

特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、在宅の重度障害児者に対し、特別障害者手当等を支給しました。

(単位：人)

区分 町名	特別障害者手当等		
	障害児福祉手当	福祉手当(経過措置分)	特別障害者手当
葉山町	10	—	10

(3) 母子福祉資金等の貸付

母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、母子家庭等の経済的自立の助成、生活意欲の助長、児童の福祉の増進等のため、母子福祉資金、父子福祉資金及び寡婦福祉資金の貸付を行いました。

区分 市町名		事業 開始	事業 継続	技能 習得	就職 支度	住宅 転宅	医療 介護	生活	修学	就学 支度	修業	結婚	計
鎌倉市	母子	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3
	父子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寡婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	3
逗子市	母子	-	-	-	-	-	-	-	5	1	-	-	6
	父子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寡婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	-	-	-	-	-	5	1	-	-	6
葉山町	母子	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	父子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寡婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1
計	母子	-	-	-	-	-	-	-	5	5	-	-	10
	父子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寡婦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	5	5	-	-	10

(4) 母子・父子自立支援員の設置

福祉事務所に母子・父子自立支援員を設置し、母子家庭、父子家庭及び寡婦家庭の自立に必要な福祉資金の貸付をはじめとして、生活全般にわたる相談・援助を行いました。

<相談援助実施状況（相談回数）>

区分 市町名	生 活 一 般										計		
	住 宅	医療 ・健康	家庭紛争		就 労	結 婚	養育費	借 金	その他	小 計			
			配偶 者の暴力	その他									
葉 山 町	0	0	1	0	13	0	0	0	11	25	52		
区分 市町名	児 童												
	養 育	教 育		非 行	就 職	その他	小 計						
葉 山 町	0	0		0	0	0	0	0	0	0			
区分 市町名	経 済 的 支 援 ・ 生 活 援 護												
	母子福祉 資金		父子福祉 資金		寡婦福祉 資金		公 年 的 金	児 童 扶 養 手 当	生 活 保 護	税		その他	小 計
	貸 付	償 還	貸 付	償 還	貸 付	償 還							
葉 山 町	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0		1	27
区分 市町名	そ の 他												
	売 店	た ば こ 販 売		公営住宅		施設利用		母 子 生 活 支 援 施 設		小 計			
葉 山 町	0	0		0		0		0		0	0		

<自立支援給付金事業の実施状況（給付件数）>

自立支援教育訓練給付金	高等技能訓練促進費
0	6

(5) 関連する業務

DV防止法（配偶者からの暴力防止及び被害者の保護に関する法律）に基づき、女性相談所、配偶者暴力相談支援センターと連携し、被害者の自立支援のために相談・援助を行いました。

年度	援助内容	面接	電話	一時保護
2019（令和元）年度		0	1	0
2020（令和2）年度		0	2	0
2021（令和3）年度		2	6	0
2022（令和4）年度		5	9	1
2023（令和5）年度		4	2	0

8 福祉統計

（福祉行政報告例）

対象年月	内 容
4月～3月	管内（葉山町）の生活保護法に係る状況、障害福祉手当等の認定状況、助産施設・母子生活支援施設在所者数他